

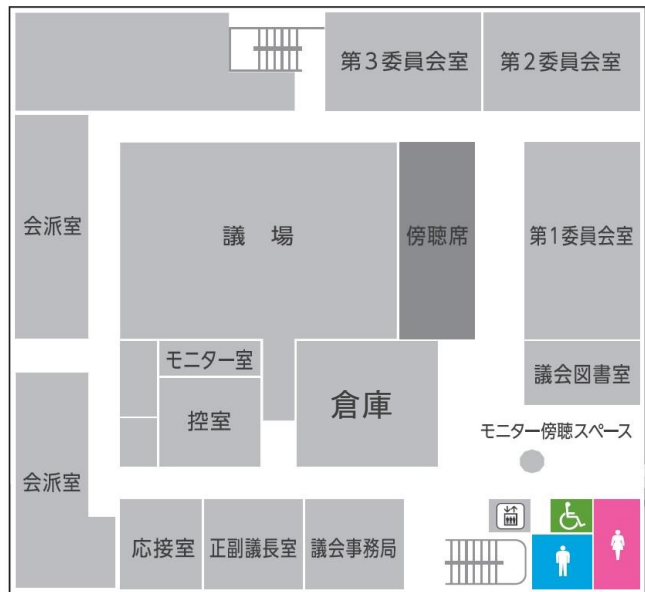
佐渡市役所 新庁舎



【所在地】	佐渡市千種232番地
【構造】	庁舎＝鉄筋コンクリート造 渡廊下棟＝鉄骨造
【敷地面積】	5,397.4㎡(旧庁舎敷地分含む)
【延床面積】	1F：1,849.88㎡ 2F：1,624.32㎡ 3F：1,606.88㎡ 合計 5,081.08㎡
【駐車台数】	来庁者用 140台＋おもいやり駐車場
【建設工事費】	合計：2,879,776,900円

佐渡市役所新庁舎 フloorガイド

3階



2階



1階



【3階窓口】 議会事務局

【2階窓口】 総務課 財政課 総合政策課 秘書広報課 防災課 財産管理課 世界遺産推進課 契約検査室 監査委員事務局

【1階窓口】 会計課 税務課 市民課 高齢福祉課 社会福祉課 子ども若者課 健康医療対策課 金井地域センター

主な特徴・機能

安全で安心、かつ市民の暮らしを支えるための庁舎

- ・震度6～7を想定した耐震機能があり、適切に情報収集や対応を図れる災害対策本部が設置できます。
- ・大規模災害時においても、業務継続が可能となるよう、電気・水・トイレ排水等を3日分確保されます。



大会議室



発電機



中水設備

環境にやさしい庁舎

- ・外壁や屋根、窓ガラスなどで、断熱性の高い工法や部材を採用し、併せて、LED照明や高効率の空間設備を整備することで省エネルギー化を図っています。
- ・佐渡市役所新庁舎はZEB(※) Readyの認証を取得し、一次エネルギーの消費量を62%削減しています。

※ ZEB(ゼブ)とは、Net Zero Energy Buildingの略称で、快適な室内環境を保ちながら高効率設備等により省エネルギーに努め、太陽光発電等の再生可能エネルギーを作ること、同規模の標準指標ビルと比較し、一次エネルギー(天然ガスや石炭などの自然界から得られるエネルギー)の年間消費相が大幅に削減されている建築物のこと。

ZEB Ready: 一次エネルギーの年間消費量が50%以上削減(再生可能エネルギーを除く)

市民に開かれた利便性の高い庁舎

- ・市民利用の多い窓口を1階に集約して、ワンストップ対応ができるようになりました。併せて窓口発券システムや「書かない窓口」を採用して、窓口対応が効率的にわかりやすくなりました。



1階市民窓口



発券機



「書かない窓口」



アテビのモニュメント

- ・庁舎の内装・外装には市の木「アテビ」やスギなど佐渡産木材を随所に使用しております。

- ・誰もが安全に安心して快適に利用できる庁舎を目指し、ユニバーサルデザインを取り入れています。



多目的トイレ



授乳室



キッズスペース